

第3回 京都駅南口駅前広場エリアマネジメント会議 議事要旨

日 時：平成26年3月25日（金）午前10時00分～午前11時30分

場 所：京都市役所F会議室

出席者：別紙のとおり

- 議 題：1 貸切バス部会における検討状況について
2 タクシー部会における検討状況について
3 路線バス部会における検討状況について
4 送迎部会における検討状況について
5 荷捌き部会における検討状況について
6 その他

1 貸切バス部会における検討状況について

（資料に基づき事務局から説明）

（1）各委員からの意見

- 今回再開発されて、当然より良い環境になるが、実際できてから事故が増える、あるいは苦情申告が増えるというような再開発だけには絶対にしてほしくない。
- ショットガンシステムは、まずはいきなり導入ということではなくて、試行を踏まえて導入をしていくことが必要だ。
- 苦情というのは変わっていくということを知らないことによって起こることが多いので、広報についても、より慎重に、かつ充実したものをやっていく必要がある。
- ショットガン方式は非常によいシステムだと思っている。ただし、片側2車線になるので、システムがうまくいかず、バスが溢れ出ると1車線が潰れて、交通に与える影響が非常に大きい。そのため、広報によって周知を徹底して、必ずうまく運用してほしい。

（2）とりまとめ

- 部会でまとめられた管理運用方針で進めていく。
- 今後は、試行および試行に関する広報を中心に具体的な検討作業を進める。

2 タクシー部会における検討状況について

（資料に基づき事務局から説明）

（1）各委員からの意見

- タクシーについてもショットガン方式を行うことは、非常によい。こちらでも運用がきちんとできれば問題はないと思うが、八条通のプールへの入り待ち、第2プールでの入り待ち、マナー向上の対策を考えていかなければならない。業界独自の自主規定を設けることを検討中ということだが、自主的にしっかりと管理をしていただきたい。
- 一握りでもルールを守らない方がいれば不公平感が生じて、このシステムが使われず、システム自体が回らなくなってしまうので、試行を踏まえて、その辺のところに

ついてしっかり確認をお願いしたい。

- 利用規則の及ぶ範囲にアバンティの周辺を含めて、乗務員のマナー向上に努めていただきたい。
- 八条口のプールへの入りの時の話だけではなくて、八条通全体の中で、罰則など、拘束力のある利用規則について、検討をお願いしたい。

(2) とりまとめ

- 部会でまとめられた管理運用方針で進めていく。
- ルールも含めて試行を行って、ショットガンシステムの導入の可否について検討していく。

3 路線バス部会における検討状況について

(資料に基づき事務局から説明)

(1) 各委員からの意見

- バス停のバスの発着が重複するというのが一番問題になると思うので、ダイヤの調整を必ず行っていただきたい。
- 一般の利用者の方にわかりやすい利用の案内を行っていただきたい。
- バス待ちスペースは、歩道で待つ形になるところもあるだろうが、歩道を占拠せず、一般の歩行者の妨害とならないような空間を作っていただきたい。
- インフォメーションセンター等で観光される方がお尋ねになったときのために、係の方にも十分に新しい交通システムについて事前に説明し、わかりやすい説明が可能になるような配慮をお願いしたい。
- 乗り場が変わって、発着する便もいろいろ変わっていくような状況というのは、紙面で見たり、ホームページを見たりしてもわかりにくい場合もあるかと思う。ぜひそういう噛み砕いた説明ができるような人員の配置についても検討していただきたい。

(2) とりまとめ

- 部会でまとめられた管理運用方針で進めていく。
- この方針の精度をさらに上げて、かつ具体化していくというのが今後の作業方針になる。

4 送迎部会における検討状況について

(資料に基づき、事務局から説明)

(1) 各委員からの意見

- 送迎の自家用車は不特定多数の方が来るため、それらの人に八条口は駐車場がないことを周知徹底させるというのは、かなり難しいが、駐車場への案内看板を見やすいように適切に設置して、駐車場への誘導案内を確実にできるようなシステムを作っていくしかないと思う。
- 運転手が乗ったままの入り待ちをする人がないような環境作りをしっかりとっていただきたい。

- パーキングチケット駐車場がなくなると、障害のある方で駐車禁止の指定除外をお持ちの方の止めるところがなくなるため、指定除外をお持ちの方が、どこか駐車場に優遇して止められるようなシステムを作っていただきたい。
- 早い段階から全利用者に向けて今回の計画の理解，周知を図る説明，広報を念入りに行っていく必要がある。
- 送迎バスについては，ダイヤ調整をするということだが，限られた空間での運用を効果的に，事故がないようにお願いしたい。
- 案内・誘導看板は，チラシやウェブ以外に重要な情報伝達媒体なので，慎重に，中のメッセージやデザイン等について検討いただきたい。
- 人員による誘導・指導體制は，当然お金もかかる話だが，そこについては余裕を持った対応を検討していただきたい。

(2) とりまとめ

- 部会でまとめられた管理運用方針で進めていく。
- 広場の利用ルールが周知されるまでの一定期間人員を配置して誘導・指導にあたるが，人員配置を解除後，状況が悪化した場合は，再び人員体制を敷く必要がある。
- 事前の広報，案内，説明を早い段階から積極的に取り組んでいくことが重要だ。

5 荷捌き部会における検討状況について

(資料に基づき，事務局から説明)

(1) 各委員からの意見

- 決められたルールを守らず，路上駐車する者がいたら，不公平感が出てルールが無視されてしまうので，駐車場に入れて荷台で運ぶのは非常に不便だとは思いますが，必ずこれを徹底していただきたい。
- 民間の駐車場に入らない大きいサイズのトラックの荷捌き場での運用について，きちんとルールを決めないと路上に溢れてしまうので，ルール作りもしっかりお願いしたい。
- 可能であれば，止めてはいけない場所に止めて荷捌きしようとする人に対しても，少し指導するような体制を取っていただくと，荷捌きに関しては，決められたルールの中で運用できると思う。

(2) とりまとめ

- 部会でまとめられた管理運用方針で進めていく。

6 その他

(1) 各委員からの意見

- 現在，北側は乗合バス，南側は貸切・高速バスという機能分担が一応されていると思う。今回，ショットガン方式を十分円滑に活用していただいて，南口広場内でできるだけ貸切バスを消化していただけるようにお願いしたい。
- ここで決められた方針や決定事項を所属機関に帰ったら下に下ろしてほしい。最終

的には関係機関の末端の人まで周知徹底しないと取り組みはよい方向にいかないと思うので、そこだけはお願いしたい。